

**令和6年度第5回宜野湾市振興計画審議会  
議事要旨**

<b>日時</b>	令和7年1月30日(木) 10時00分～11時15分		
<b>場所</b>	宜野湾市役所 2階 庁議室		
<b>議事骨子</b>	1. 開会 2. 議事 (1)第五次宜野湾市総合計画前期基本計画(案)及び第三期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について(資料1、2、3、4) 3. 事務連絡 4. 閉会		
<b>会議資料</b>	資料1: 令和6年度第4回振興計画審議会における意見の概要と意見に対する修正対応等 資料2: パブリックコメントでいただいた意見に対する考え方 資料3: 第五次宜野湾市総合計画前期基本計画(案) 資料4: 第三期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案) 参考資料1: 令和6年度第4回宜野湾市振興計画審議会議事要旨 参考資料2: 宜野湾市振興計画審議会委員名簿		
<b>委員出席者 (敬称略)</b>	<b>所属</b>	<b>氏名</b>	
	出席	琉球大学国際地域創造学部 教授(経済学)	瀬口 浩一
	出席	沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科 教授	岩田 直子
	-	琉球大学 グローバル教育支援機構 保健管理部門教授	崎間 敦
	-	琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース 准教授	神谷 大介
	-	宜野湾市商工会理事	吉田 英子
	出席 (WEB)	宜野湾市観光振興協会会長	高里 健作
	出席	宜野湾市認可保育園長会会長	仲村 由香
	出席	宜野湾市自治会長会選任 大謝名区自治会長	眞志喜 初枝
	出席	宜野湾市社会福祉協議会事務局長	仲村渠 満
	出席	一般公募枠	坂田 安佐子
	出席	宜野湾市教育委員	大川 実
	出席	特定医療法人 アガペ会 理事長	涌波 淳子
	出席	アイパブリッシング株式会社 代表取締役	福島 健一郎
	出席	沖縄振興開発金融公庫	宮里 一弘
	出席	日本労働組合総連合会沖縄県連合会連合 沖縄中部地域協議会 議長	宇根 信明
	出席 (WEB)	FM ぎのわん 代表取締役	山内 一郎
	-	うむやす法律会計事務所 弁護士	野崎 聖子
-	宜野湾市企画部長	坂場 純平	
<b>事務局</b>	<b>【宜野湾市企画部企画政策課】</b> 伊佐次長、小橋川主幹、玉元技幹、藤原主査、平良技査、平良主査 <b>【日本工営都市空間】</b> 盛田、具志堅		

**令和6年度第5回宜野湾市振興計画審議会  
議事要旨**

1. 開会（会議成立を確認）

2. 議事

(1) 第五次宜野湾市総合計画前期基本計画（案）及び第三期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について（資料1、2、3、4）

■パブリックコメントでいただいた意見に対する考え方

発言者	内容
委員	今回のパブリックコメントの件数は他の計画におけるパブリックコメントと比較して多いのか。件数が多い場合、想定される要因は何か。また、これらのパブリックコメントについて各担当部署は周知しているのか。
事務局	他の計画におけるパブリックコメントの件数を確認したわけではないが、210件とかなり多く寄せられている。要因としては、審議会の皆様にご協力をお願いしたほか、市のHPやLINE等による周知、自治会長の皆様による協力が想定される。 また、寄せられたコメントについて各担当部署には周知済みであり、各担当部署からいただいた回答を取りまとめている。
委員	今回のパブリックコメントはLINE上でも非常にコメントが行いやすかった。
委員	パブリックコメントで特に意見が多く寄せられた項目は基本目標2についてである。 子どもたちを中心とした安心して生活ができるという部分に、多くの人が興味をもっていることから、それらを念頭に置いた上で今後進めていく必要がある。
会長	No. 8の意見に対する市の考え方についてだが、計画書の記載と同様に協働とは～のその他関係団体の前の箇所に「教育機関」を追記する必要がある。
事務局	計画書について「教育機関」の記載があるため、パブリックコメントへの回答も同様の文言で追記修正させていただく。
委員	No. 44～47では、給与を上げてほしいというパブリックコメントが寄せられているが、回答から察するに市の考えとしては、給与を上げるという解釈でよいのか。  No. 68の「アウトリーチ」についてだが、行政がNPO等の民間に委託をして行うのか。どのように行うのか教えていただきたい。  No. 89の意見に対する市の考え方についてだが、無料塾や子ども食堂等の全ての団体に補助金を交付し運営を支援しているのか。

令和6年度第5回宜野湾市振興計画審議会  
議事要旨

発言者	内容
事務局	<p>No. 44～47 について、市から認可保育施設等に支払われている委託費や給付費等は、国が定めた基準に基づいて国庫補助金で賄われている。これらの費用は保育士の処遇改善に充てることが目的で支給がなされている。保育士の賃金改善につながるように、引き続き指導監督を進めていくものと考えている。</p> <p>No. 68 については、具体的にどのようなアウトリーチを行っているかについては把握していないが、総合計画 P20①「虐待等の予防と対応」で施策の展開を記載しており、児童家庭課にこども家庭センターを設置し、専門の職員を配置して早期発見に取り組んでいる。</p> <p>No. 89 については、具体的な補助団体数については把握していないが、全ての団体に補助金を交付しているわけではないと伺っている。どのような基準で補助金を交付しているかについては、担当課に確認を行う。</p>
委員	労働団体の中でも制度改定の中で処分改善には取り組んでいるということを確認する。
委員	今回の計画に反映できなくても、次期計画に活かせるものもあるので、パブリックコメントの意見は残しておいてほしい。
委員	実際に虐待を目撃したが、児童家庭課に相談したところ、虐待ではないと言われ対応していただけなかった。児童家庭課でどこまで対応していただけるのか。窓口というからにはしっかりと対応していただきたい。
事務局	担当課に確認した上で回答する。
委員	自身が相談した時は早急に丁寧に対応していただけたので、人によるのではないのかと思う。
委員	No. 173 の意見に対する市の考え方を踏まえ、総合計画 P53, 54 を見ると表現方法が漠然としているような気がする。宜野湾市として自主防災組織とはどのような認識なのか。
事務局	自主防災組織は消防団とは異なり、主に自治会が中心となった組織という認識である。市内には、23 自治会において自主防災組織が発足していると伺っている。
委員	「自主防災組織（自治会等）」といった具体的な表現にしてはどうか。
事務局	<p>詳細な内容については、個別計画において示されるため、総合計画の表現が多少抽象的なものになることはご了承いただきたい。</p> <p>ただ、ご指摘いただいた箇所の表現方法については、用語解説を付けるなど、今後検討させていただきたい。</p>
委員	総合計画の性質上、表現が抽象的なものになり、個別計画の中で詳細に記載するとのことだが、そのような計画の関連性の記載もあったほうがいいのか。
事務局	<p>基本構想に基づく基本計画の各施策について、詳細に具体化したものが個別計画である。</p> <p>資料編で総合計画と各種個別計画の関連性がわかりやすくお伝えできるように工夫を行う。</p>
会長	自主防災組織と消防団はどのような連携をしているのか。

令和6年度第5回宜野湾市振興計画審議会  
議事要旨

発言者	内容
事務局	<p>消防団は消防側の組織であり、自主防災組織は共助を目的とした各自治会の組織である。</p> <p>各自治体に消防団員はいると思うが、沖縄の場合、本土と異なって各消防団は消防車を所有していない。消防署にある消防車を運用していると伺っている。</p>
委員	<p>大謝名自治会の自主防災組織は 23 組織ある中で発足が遅かったが、西海岸地区は津波等の影響を受けやすいことから、早い段階で自主防災組織が発足された。</p> <p>通常自治会長が自主防災組織の会長を兼任するが多かったが、大謝名では動きやすさの面から自治会長と自主防災組織の会長を分けることとした。</p> <p>しかし、4月の津波警報の際は日中であったため、自主防災組織として対応することができなかったことから、自主防災組織は学校区等でわけのではなく、隣の浦添市や企業等も含めて地域にあった組織形態とすべきだと感じた。</p>
事務局	<p>各地域には自治会組織があるため、各自治会を中心に自主防災組織の立ち上げがしやすい状況にあったものと認識しているが、企業の自主防災組織があってもいいと思われる。</p>
委員	<p>日中に動ける人を中心に組織化する必要がある、日中働いている人は自身の住んでいる地区ではなく、働きに出ている地区を助けるといった認識づくりが重要である。夜間と日中で人口状態が異なっている。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり昼間人口は減り、ベッドタウン的な現状があるため、今後そのような検討が必要になる可能性もある。担当課に確認したい。</p>
委員	<p>No. 182 の意見に対する市の考え方について、総合計画 P64 にも記載はあるが、公共交通サービスの充実が具体的に何を指しているのか市民は理解できないのではないか。例えば、モビリティ・マネジメントの推進等。</p>
事務局	<p>わかりにくい用語については、最終的に用語解説を作成し対応する予定である。</p> <p>個別具体的な取り組みについては、担当課により地域公共交通計画等の個別計画を策定し、実現に向けた検討がなされている。</p>
委員	<p>実際にコミュニティバスは実現を考えているのか。他市町村にはコミュニティバスが存在しているので本市にも欲しいといった市民の声が表れていると感じた。</p>
事務局	<p>コミュニティバスだけでなくデマンド交通も含めて検討しているということを伺っている。</p>
委員	<p>埼玉県で道路の陥没事故が起きたように、沖縄でも道路が陥没しているところがあるが大丈夫なのか。</p>
事務局	<p>経年劣化や紫外線、アスファルトの素材がサンゴ系で柔らかい等の関係により道路が劣化しやすいといった現状はある。</p> <p>実際過去に伊佐で硫化水素が発生し管が溶けて、道路の陥没が起きた。</p> <p>市内の下水道の延長が 130km 程あるため、上下水道局の方で幹線道路から長寿命化にむけて確認を行っている。</p>

令和6年度第5回宜野湾市振興計画審議会  
議事要旨

発言者	内容
委員	埼玉県で起きた陥没事故は下水道管に穴が開いて土砂が流れ込んだことから起こっている。 このような事故を踏まえると地震対策だけでなく管路の更新率を KPI として目標設定すべきであると思い、前回そのような発言をした。
会長	沖縄は下水道料金が全国で比べると半分と低く、今後のインフラ更新を考慮すると料金設定について考えるべきである。
委員	No. 150 の意見に対する市の考え方についての記載では不十分に感じる。高齢者の生きがいづくりの場として老人クラブや健康教室等を行っているのもう少し追記していただきたい。
事務局	担当課にお伝えし改めて回答する。